

産業廃棄物実態調査結果（平成30年度実績）について

本県では、産業廃棄物の排出抑制、適正処理及びリサイクルを推進するための基礎資料とすることを目的に、県内で発生した産業廃棄物の排出、処理状況等の実態を調査しているが、このたび、平成30年度の結果を取りまとめた。

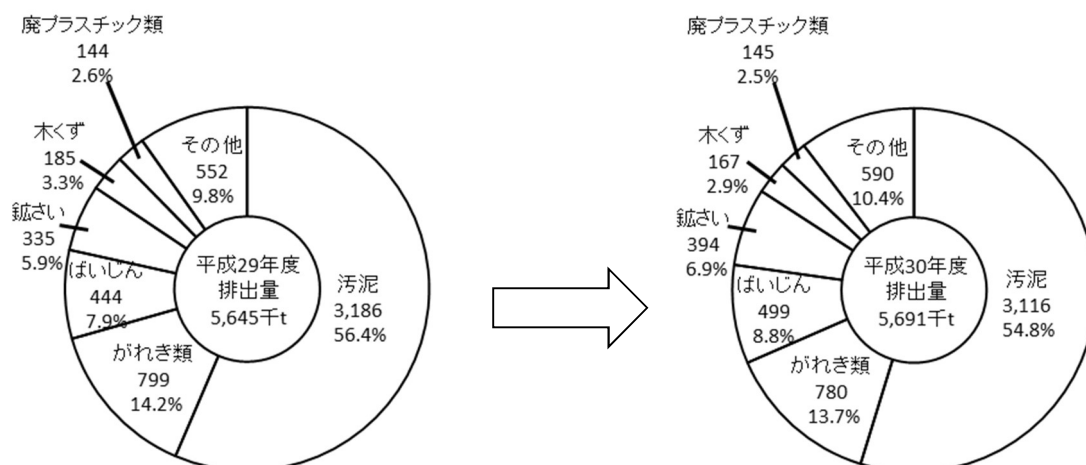
1 調査方法

平成30年度に本県内で発生した産業廃棄物について、産業廃棄物多量排出事業者からの処理計画や実施状況報告、産業廃棄物処理業者からの処分実績報告を用いて排出量等を推計した。

2 調査結果

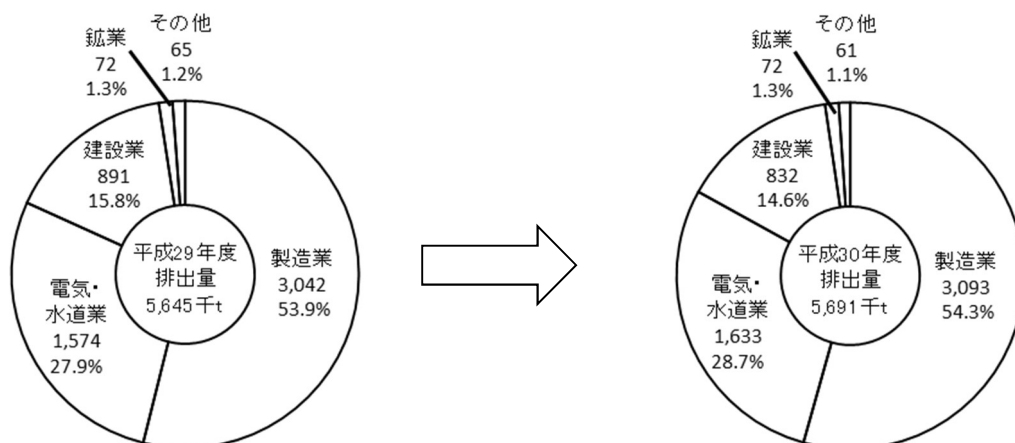
(1) 種類別排出状況

排出量の総量は5,691千tであり、種類別では、汚泥が3,116千tと全体の54.8%を占め、次のがれき類が780千t（13.7%）と多かった。



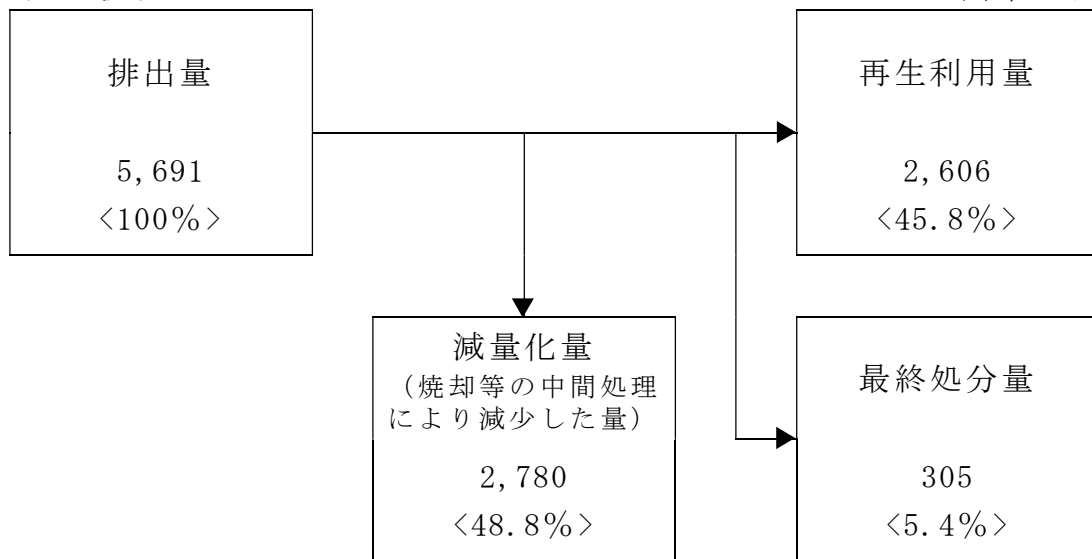
(2) 業種別排出状況

業種別では、製造業が3,093千tと全体の54.3%を占め、次に電気・水道業が1,633千t（28.7%）、建設業が832千t（14.6%）と多かった。



(3) 処理状況

(単位:千t/年)



注: < >内の数値は、排出量に対する割合

3 実態調査結果の年度別比較

(単位:千t/年)

	平成26年度 実績 (基準年)	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和2年度 目標 (4次廃棄物処理計画)
排出量	5,525	5,645	5,691	5,649
再生利用量 (リサイクル率)	2,399 <43.4%>	2,513 <44.5%>	2,606 <45.8%>	— <45.4%>
減量化量	2,808 <50.8%>	2,820 <50.0%>	2,780 <48.8%>	—
最終処分量	318 <5.8%>	312 <5.5%>	305 <5.4%>	303 <—>

注: < >内の数値は、排出量に対する割合